

平成 27 年度発達障がいスーパーバイザー研修実務研修

昨年に引き続き、今年度も発達障がいスーパーバイザー研修（以下SV研修）の受け入れを 9 月・10 月の 2 回行いました。

※日本福祉財団から助成を受けている事業で、来年も合わせて 3 年間あります。

9 月は、4 名の方の受け入れ。

地元札幌の「札北荘（社会福祉法人札親会）」・埼玉県の「GH潮寮（社会福祉法人けやきの郷）」・三重県の「あさけホーム（社会福祉法人檜の里）」・京都の「みずのき（社会福祉法人松花苑）」。

10 月は、3 名の方の受け入れ。

兵庫県の「ワークホーム高砂（社会福祉法人あかりの家）」・福岡県の「葦の家（社会福祉法人葦の家）」・大分県の「子ども発達支援センターもも（NPO法人みんなの広場とんとん）」。

実習で現場に入ることもありますが、講義やケース検討などディスカッションを中心としたプログラムの研修を組んでいます。毎日朝から夕方までほとんど休みなくメニューを組んでいます。皆さんとても真剣に聞いてくださっているので、こちらもうれしいです。ディスカッションの中では、ゆいの強みや弱みを聞かせていただけて良かったと思っています。

強みに関しては個別化でしょうか、決してマンツーマンでの対応することが個別化ではなく、利用者それぞれがどのように思っているのか、考えているのかを受け止め、それぞれが持っている力に合わせて伝えることだと思っています。弱みに関しては、全体の活動量でしょうか、ゆいでは大枠の日課はあるのですが、その方の集中時間などに合わせていたり、今までいろいろなことで頑張りすぎてしまった方が多いため無理をさせないという思いもあったりするからですが、利用者の皆さんがまだまだ若いのでこれからもっと検討していかなくてはならないと思っています。

